

# 京林大だより

No.77

## 第9回林大祭

## ありがとうございました

毎年恒例の林大祭を第9回目として盛大に開催することができました。（12月1日(日)）ご来場いただいた皆様、お陰様で大変活気のあるイベントになりました。ありがとうございました。

クリスマスリース作りは特に大人気で、例年以上の材料が早い時間に完売となったり、食べ物ブースも充実させていたのですが、売切れ続出。来場者の方に申し訳ない程の売行きで、これまでにないくらい賑わっていました（来場者400名超）。今年は、京林大同窓会の初出店、京丹波森林組合からの参加、卒業生の重機持込による参加（株）高屋土建もあり、大いに盛り上げてくれました。

毎年出店いただく近隣店舗やキッチンカーのみなさま、今年もご協力ありがとうございました。

[まどい、七福堂、角屋、樹々の会、森の力京都(株)、黒豆カフェ、南国電波キッチンカー、なお道、EFF CAFE（順不同・敬称略）]



クリスマスリース作り



ロープアスレチック



林業機械操作体験



木工品販売（根強い人気で丸太イス完売です）

## 「頑張っています 林大生！！」

### 「わくわくサイエンス2024」

11月4日(日)午前、京丹波町役場にて開催されました。林大ブースでは、  
 ○「輪ゴム銃」（竹製の輪ゴム鉄砲づくり）  
 ○「リーフレター」（タラヨウの葉によるハガキづくり）  
 に取り組みました。3名の林大生に須知高校生にも補助員としてお世話になり、70組以上のお子様やご家族等に製作のお手伝いをしました。できあがった輪ゴム銃での当て等を楽しんでいただきました。



### 「森のぶるぶ」

11月9日(土)、須知高校にて開催された「森のぶるぶ」のうちヒノキ伐倒デモと鋸引き体験を学生4名が担当しました。当日は秋晴れの空の下、幼児小学生とその家族28名が木を切り倒す様子を見学。伐倒後は学生の指導を受けて、子どもたちが木の枝をノコギリで楽しそうに切り落としてくれました。



## 今月の授業参観

### 『三林大交流会』

11月14日(木)、15日(金)の2日間「全国林業大学校対抗伐木選手権大会(三林大(長野・岐阜・京都)交流会)」を「府民の森ひよし(ハピロー！の森京都)」において開催しました。

この大会も10回目となり、本校からは2年生10名が参加し、チェーンソーによる伐倒技術等を競いました。

本校の結果は3位で、優勝は岐阜県立森林文化アカデミーとなりましたが、丸太の受け口切りの種目では京都の学生が1位になるなど、全員が奮闘しました。

他校との交流を図ることができ、卒業する2年生同士のつながりが深まる良い機会になったと思います。

次年度は岐阜県で開催される予定です。



## 校長室より

校長 大下 起代

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年より円安やロシアのウクライナ侵攻等による原材料価格や物価上昇が続き、デフレから物価高騰へ急激に変化しました。また、近年は、AIや、IoTをはじめとする様々なテクノロジーも急速に進化を遂げるとともに、地球温暖化による気候変動や異常気象などの影響がより大きくなる等、世の中の変化のスピードが非常に早く、将来の予測が極めて困難であり、全てにおいて、前例踏襲が通用なくなっています。

今年の干支は乙巳(きのとみ)で、「これまでの努力が結実する年、再生や変化を繰り返しながら発展していく年になる」といわれています。

現状に柔軟に対応しながら変わっていくことも大切ですが、委ねたり預けたりばかりでは発展はないので、現実をしっかり見つめて捉え、その都度、出来る最善を尽くしていくことがより大切だと思っています。

今年も、本校の学生が森林・林業を通じたあらゆる場面で活躍できる人材となるよう職員一同、力を尽くして指導してまいりますので、引き続き皆様の御支援、御協力をお願いいたします。